

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症児デイサービス ハルノヒ			
○保護者評価実施期間	令和7年2月26日 ～ 令和7年3月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	令和7年2月21日 ～ 令和7年3月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画を立案している	チャットワークによるタイムリーな情報共有を行っている。その情報を元に月に一度のミーティングでそれぞれの専門職の視点からお子様の様子や次の目標についても話し合うことができます。	在籍している職員が継続的にこどもたちの支援に関わることができる環境づくりに取り組み、指導員・専門職・看護師間での連携を高めることで、こどもたちの特性への理解を深め支援の質を高めることができるように取り組んでいきます。
2	お子様・保護者様が安心感を持って、楽しみを感じながら通所できる環境づくり	お子様と職員が1対1以上となるように、勤務体制を整えております。またお子様の医療ケア内容によっては看護職員を多く配置して対応しています。また、お子様の様子を送迎の際や連絡帳で的確に伝えるように意識して取り組んでいます。	放課後等デイサービス利用のお子様の午前利用時（長期休暇等）にも基本的に1対1で対応できる体制を整えていきたいと考えています。
3	活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	月の活動を事前にスタッフミーティングで考え、季節に応じた活動や音楽、製作、運動遊び、感覚遊びなど様々な活動に取り組んでいます。	活動後のミーティングで活動を振り返りを行うことで、次の活動に活かしていきたいと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルの策定や非常災害を想定した定期的な避難訓練等の情報発信について	安全計画について保護者への説明を実施する機会を設けておりませんでした。避難訓練については定期的に実施しており、それらの内容を定期的に通信やSNSで発信しておりますが、保護者の皆様にしっかりと伝わっていない現状があります。	再度職員間で保護者との連携部分について精査し、問題がなければ説明資料を作成し、保護者に配布・説明を行っていきます。避難訓練については実施したことが伝わるよう、発信方法を工夫していきたいと考えています。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族も参加できる研修会等の機会について	さまざまな特性のこどもたちにご利用いただいておりますが、課題感もさまざまであるため、一律的なペアレント・トレーニングを実施することが効果的か検討が必要だと考えております。	ご利用者の皆様全員に必要な情報は保護者会等を通してお伝えしていきます。各ご家庭のお子様の個別課題や支援については、随時メールや電話等でご相談いただき、必要に応じて面談の場を設け、課題にあわせて情報提供やアドバイス等を行ってまいりたいと考えています。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない	土曜日が休所のため地域のイベントなどになかなか参加ができない状況です（地域のイベンが基本的に土・日開催のため）。	平日にイベントがある際は参加していきたいと考えております。